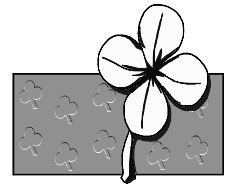


MY FAVORITE SPOTS and EVENTS

このコーナーでは、「あまり知られていない、わたしのおすすめスポットや行事」を会員のみなさんに紹介していただきます。
ガイドスポットの選択のひとつに加えてみてはいかがでしょうか？
今回のご紹介は後藤孝一さん（正会員）からの「おすすめ」です。



小牧山城の歴史を巡り、信長に思いを馳せてみませんか

我が家からほど近い小牧山は、小牧市の市街地の西に位置し、標高 85.9 メートルの小山で頂上からは平野を一望に見渡すことができる眺望の地で、私も自転車で訪れる場所です。春の桜、夏の青葉、秋の紅葉と季節折々の姿を見せ、麓には広場が広がり、多くの市民に散歩、スポーツと親しまれています。小牧山の「今」をご紹介します。

永禄 6 年（1563）、織田信長は美濃方面を一望できる小牧山に城を築きました。近年の発掘調査で山頂に石垣を全周させた主郭を置き、これを中心に武家屋敷や演習場など複数の曲輪を配置した城郭であったことがわかってきました。永禄 10 年には美濃の斎藤龍興が住む稲葉城を攻略して、岐阜と名を改め居城を移したので、小牧山城はわずか 4 年で廃城となりました。天正 12 年（1584）、小牧・長久手の戦いで、羽柴秀吉軍に対し織田信雄・徳川家康連合軍が小牧山城跡を大規模に改修して陣城を築きました。小競り合いが続きましたが両軍は和睦し、小牧山城は再び廃城となりました。土塁、虎口などこの時の遺構から、当時の大改修が偲ばれます。その後、小牧山は、江戸時代は尾張藩、明治時代には尾張徳川家の手厚い保護を受け、堀や土塁などの残存状況が良好で、城郭史上貴重な史跡となっています。

現在の小牧山城は、昭和 41 年に小牧山を訪れた実業家がお城の建設を思いつき、市と協議しながら私財を投じて建設し、昭和 43 年に小牧市に寄贈されたものです。鉄筋コンクリート造、三層四階建てです。城内には旧石器時代からのこの地方の歴史コーナー、民族コーナー、濃尾平野が一望できる展望室など「小牧市歴史館」として利用されています。平成 29 年に「続日本 100 名城」に認定されています。

小牧山に戦後建てられた中学校と市役所は移転し、小牧山の遺跡発掘調査が順次すすめられ、石垣の発掘、広い曲輪を利用した史跡公園の整備など、小牧山は益々魅力あるスポットに変貌しています。麓には「れきしるこまき小牧山城史跡情報館」が平成 31 年 4 月 25 日にオープンしました。小牧山城をはじめ小牧山に関する最新の情報を、映像機器などを通しておもしろく、わかりやすく学ぶことが出来る施設です。訪問の折には、先ずここで概要を得て、見学されることをお勧めします。

小牧山散策を楽しんで小牧駅への帰り道には、メナード美術館で絵画を鑑賞され、行列の出来るたこ焼き「ほていや」で庶民の食を味わっていただき、一日小牧を満喫ください。



☆小牧山城： 所在地〒485-8650 愛知県小牧市堀の内一丁目 1 番地

＊入場料は一般 100 円、「れきしるこまき小牧山城史跡情報館」と共通券

＊日・英ほかの外国語ボランティアガイドによるツアーがある。

コースや参加費などの詳細は小牧市観光協会にお問い合わせください。TEL：0568-39-6123

☆アクセス

＊マイカー：名神自動車道「小牧 IC」から国道 41 号線を経由して、155 号線を左折 5 分

＊電車・バス：名鉄小牧線「小牧駅」下車、東口バスターミナルでバスに乗車するが便利。徒歩の場合は 20 分

・名鉄バス「岩倉駅行（小牧市役所前経由）」乗車 → 「小牧市役所前」下車

・ピーチバス 「小牧市役所行」乗車 → 「小牧市役所前」下車

・小牧巡回バス「小牧市役所前」下車

☆参考 URL： <https://komaki-kanko.jp/guide/teikitours>